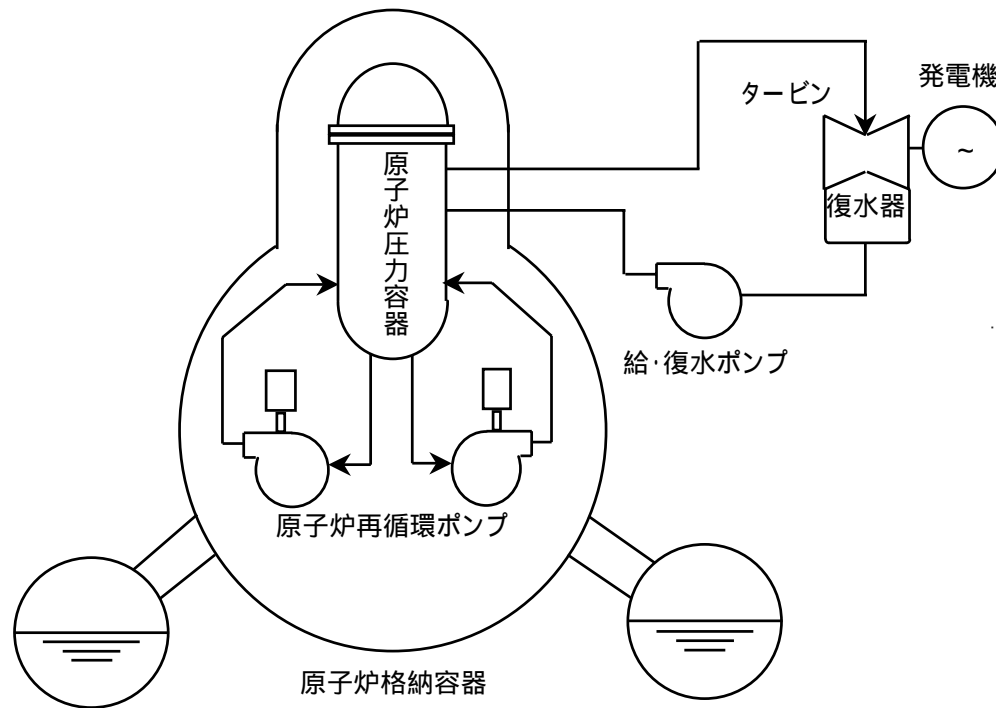
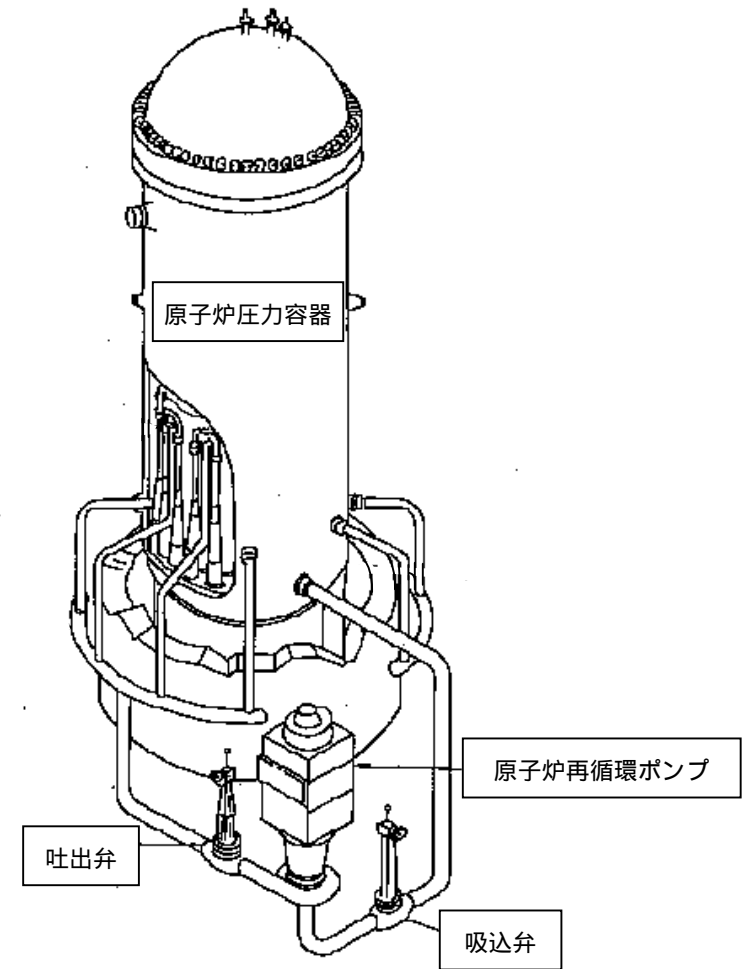
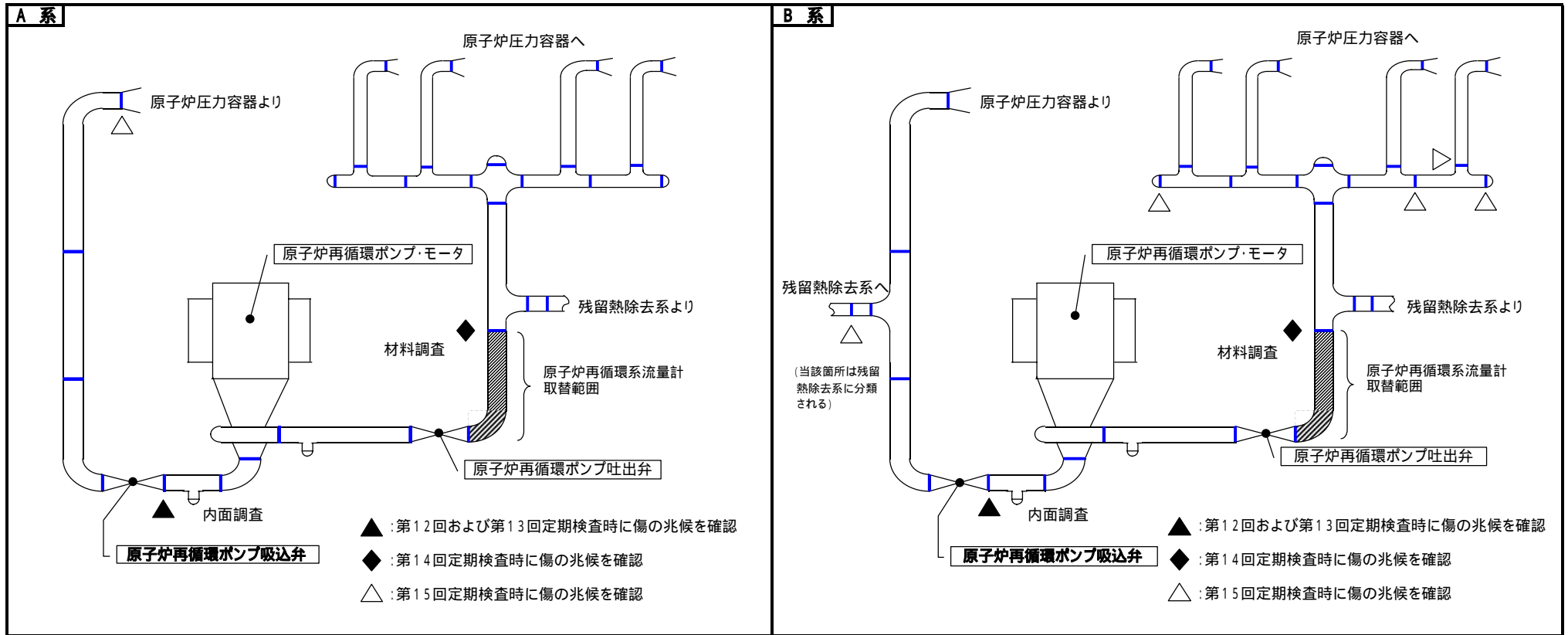




系 統 概 略 図



原子炉再循環配管 鳥瞰図



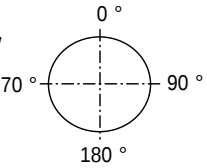
注: ~ は、溶接継手番号を示す。

女川原子力発電所1号機 原子炉再循環配管 概要図

女川原子力発電所1号機 原子炉再循環配管 傷の点検結果一覧表
(第12回,第14回定期検査時に確認された傷の兆候の点検結果)

溶接 継手 番号	必要 厚さ (mm)	実測 厚さ (mm)	指示 位置 1	第12回定期検査			第13回定期検査			第14回定期検査			第15回定期検査					
				超音波探傷検査			超音波探傷検査			超音波探傷検査			超音波探傷検査			内面調査		
				長さ(mm) 2		深さ (mm)	長さ(mm) 2		深さ (mm)	長さ(mm) 2		深さ (mm)	長さ(mm) 2		深さ (mm)	長さ(mm) (浸透探傷検査)	深さ(mm) (研削又は実測)	備考
				DAC20% 3	DAC100% 3		DAC20% 3	DAC100% 3		DAC20% 3	DAC100% 3		DAC20% 3	DAC100% 3				
	20.46	35.5	180° 付近	132	29	3.0	130	18	3.5				496	31	—	4 118 104	6.1以下 4	内面調査
			300° 付近	45	15	3.5	53	43	3.0					13	—	35	5.0以下 4	
	23.13	39.0	240° 付近							504	22	—	424	25	—	11 23.5	7.2 5	材料調査
	20.46	37.0	120° 付近	—	—	5.5	36	—	2.0				31	—	2.0	38 6 31 13 29 13 32	4.9以下 4	内面調査
				31	6	5.5	34	7	5.0				20	—	4.0			
			330° 付近	546	172	3.0	540	100	3.5				194	5	3.0	158	12.2以下 4	
						2.5								9	2.0			
					18	4.5		15	1.5					16	2.0			
					27	3.5		15	2.0					17	2.0	203		
				23.13	37.8	60° 付近										29		
	25	15				—				28	13	—				19	6	
120° 付近	22	—				—				23	—	—						
150° 付近	34	—				—				35	—	—						
0° 付近	141	14				2.5				57	13	2.0				39	9.0 5	

1:指示位置は,指示深さを確認した位置。角度は,配管の上流側から見て,
水平配管は上部側を0°,垂直配管は原子炉格納容器側を0°とする。



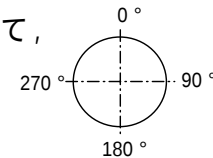
2:超音波探傷検査による長さは,DAC20%,DAC100%をそれぞれ超える傷の兆候の長さ。
3:超音波探傷検査を行う前に,試験片に設けた穴から戻った超音波の信号高さを検出し,その高さを
DAC100%とし,DAC100%の信号高さを1/5(20%)にしたものをDAC20%とする。
画面上に表示された信号高さがDACを超えたものを傷と判断する。DAC20%はDAC100%よりも
低い信号のものまで傷と判断する。

4:グラインダによる研削後の最大深さを記載しており,実際の傷の深さは,この記載値以下である。
5:サンプルからの実測値。
6:溶接継手番号 については, 5を代表箇所として調査を行ったためサンプルを採取せず。
7:表中の「 - 」は,深さについては傷の先端部を特定できない場合を,長さについてはDACを超える信号がない場合を示す。

女川原子力発電所1号機 原子炉再循環配管 超音波探傷検査結果一覧表
(第15回定期検査において新たに発見された傷の兆候)

溶接継手番号	必要厚さ (mm)	実測厚さ (mm)	指示位置 1	第15回定期検査		
				超音波探傷検査		
				長さ (mm) 2		深さ (mm)
				DAC20% 3	DAC100% 3	
	16.77	26.2	210° 付近	30	13	4.0
	16.77	28.9	180° 付近	59	49	4.5
4	17.40	33.0	120° 付近	70	52	3.5
						3.8
	16.77	29.0	180° 付近	36	4	4.0
						4.3
	11.37	19.5	0° 付近	165	129	5.5
						4.0
	20.46	34.0	30° 付近	35	25	2.0
			60° 付近	20	10	3.0

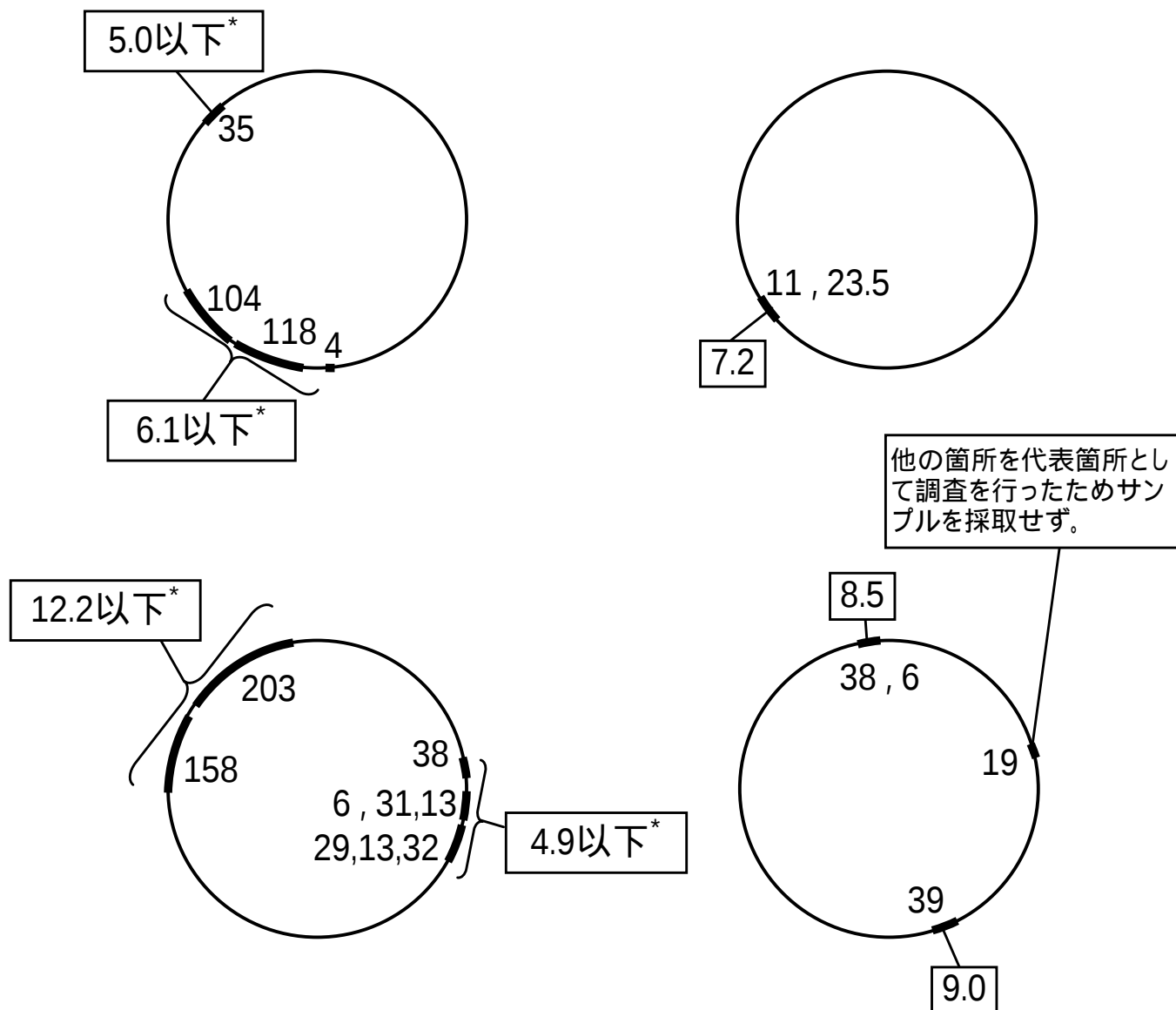
1: 指示位置は、指示深さを確認した位置。角度は、配管の上流側から見て、
 水平配管は上部側を0°、垂直配管は原子炉格納容器側を0°とする。



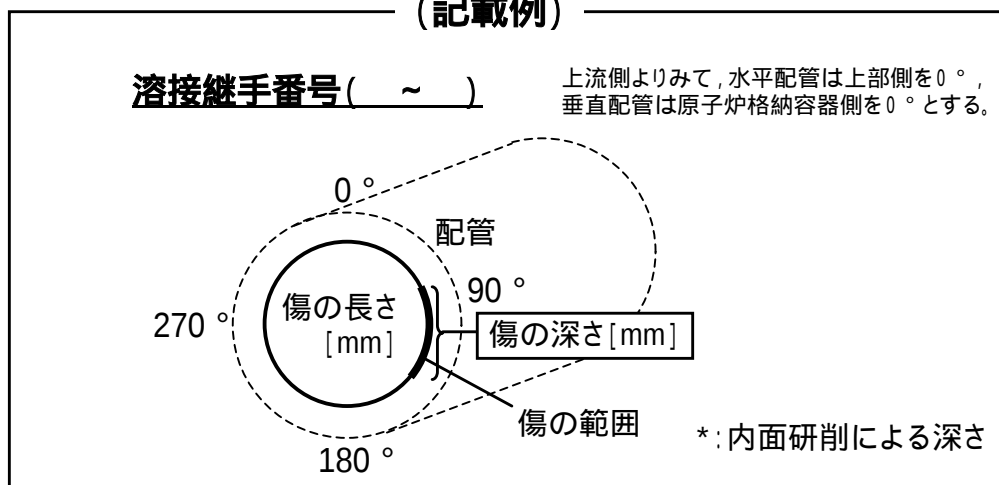
2: 超音波探傷検査による長さは、DAC20%、DAC100%をそれぞれ超える傷の兆候の長さ

3: 超音波探傷検査を行う前に、試験片に設けた穴から戻った超音波の信号高さを検出し、その高さをDAC100%とし、DAC100%の信号高さを1/5(20%)にしたものをDAC20%とする。
 画面上に表示された信号高さがDACを超えたものを傷と判断する。DAC20%はDAC100%よりも低い信号高さまで傷と判断する。

4: 当該箇所は残留熱除去系に分類される



(記載例)



女川原子力発電所1号機 原子炉再循環配管点検結果概要図
(内面調査及び材料調査)